

科目名	成果発表							年度	2026	
英語科目名	Graduation research							学期	通年	
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース 2年次	必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	演習	
担当教員	手島	教員の実務経験		有	実務経験の職種		スポーツインストラクター			
【科目の目的】 2年間の「学び」の中からその成果となる作品や催しをクラスの仲間と共に作り上げることを目的とする。卒業展や紅華祭での発表機会はもちろんのこと、今後スポーツインストラクターとして活躍するためにその成果において創意工夫・試行錯誤しながら多くの経験を積むことを目的とする。										
在学中に学んだ事を基に成果発表のための企画・準備・運営を実施します。										
【到達目標】 在学中に学んだ成果をもとに、成果発表のための企画・準備・運営を実施し、成果発表を成功に終わらせることを目標としています。発表方法としては、パネル展示発表、実演発表、実演指導発表などがあり、その完成を目標にします。										
【授業の注意点】 授業時数の4分の3以上出席しない者は評価をすることができません。科目履修としてだけではなく、集大成となるように積極的に授業に参加をしてください。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	自身が学んだ成果を外部に発信する手法（映像作成・SNS投稿・各種配信等）をしっかりと身につけている		自身が学んだ成果を外部に発信する手法（映像作成・SNS投稿・各種配信等）を「ある程度」と身につけている		自身が学んだ成果を外部に発信する手法（映像作成・SNS投稿・各種配信等）を知っている					
到達目標 B	自身が学んだ成果を外部に発信するために仲間と共に協力して、しっかりとした作品を作ることができる		自身が学んだ成果を外部に発信するために仲間と共に協力して、「ある程度」の作品を作り上げることができる		自身が学んだ成果を外部に発信するために仲間と共に協力することができる					
到達目標 C										
到達目標 D										
到達目標 E										
【教科書】 特になし										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 発表方法、内容について評価します。積極的な授業参加態度によって評価します。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		成果発表				年度	2026
英語表記		Graduation research				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期成果発表のテーマ設定	前期成果発表のテーマを設定する	1	これまでの学びの振り返り	グループワークで仲間とこれまでの学びを振り返ることができる	3	
2			1	テーマの抽出する	グループワークで仲間と作品作りのテーマを抽出することができる	3	
3			1	テーマの設定し、役割分担をする	グループワークで作品作りのテーマを設定し適材適所の役割分担をすることができる	3	
4	テーマに対する取り組み	前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
5		前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
6		前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
7		前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
8		前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
9		前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
10		前期成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を作り上げることができる	3	
11	成果発表の準備	前期成果発表準備をする	1	グループごとに成果発表の準備をする	グループごとに成果発表の事前準備をすることができる	3	
12					グループごとに成果発表の事前準備をすることができる	3	
13	成果の発表	前期成果発表を実施する	1	グループごとに成果発表をする	グループの成果を外部に発表することができる	3	
14			1	グループごとに成果発表をする	グループの成果を外部に発表することができる	3	
15	まとめ	まとめ	1	振り返り	これまでの授業を振り返ることができる	3	
				自己評価	自身のグループの成果発表について自己評価することができる		
				目標設定	これまでの振り返りをもとに今後の目標設定ができる		

科目名		成果発表				年度	2026
英語表記		Graduation research				学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
16	紅華祭に向けた成果発表のテーマ設定	紅華祭に向けた成果発表のテーマを設定する	1	これまでの学びの振り返り	グループワークで仲間とこれまでの学びを振り返ることができる	3	
17			1	テーマの抽出する	グループワークで仲間と作品作りのテーマを抽出することができる	3	
18			1	テーマの設定し、役割分担をする	グループワークで作品作りのテーマを設定し適材適所の役割分担をすることができる	3	
19	テーマに対する取り組み	紅華祭に向けた成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を上げることができる	3	
20		紅華祭に向けた成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を上げることができる	3	
21		紅華祭に向けた成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を上げることができる	3	
22	卒業展に向けた成果発表のテーマ設定	卒業展に向けた成果発表のテーマを設定する	1	これまでの学びの振り返り	グループワークで仲間とこれまでの学びを振り返ることができる	3	
23			1	テーマの抽出する	グループワークで仲間と作品作りのテーマを抽出することができる	3	
24			1	テーマの設定し、役割分担をする	グループワークで作品作りのテーマを設定し適材適所の役割分担をすることができる	3	
25	卒業展の準備	卒業展に向けた成果発表のテーマに取り組む	1	グループごとに設定したテーマに取り組む	グループで作品作りに向けた取り組みを理解し、協力して作品を上げることができる	3	
26			1	グループごとに成果発表の準備をする	グループごとに卒業展の事前準備をし、発表することができる	3	
27						3	
28						3	
29						3	
30	まとめ	まとめ	1	振り返り	これまでの授業を振り返ることができる	3	
			2	自己評価	自身のグループの成果発表について自己評価することができる		
			3	目標設定	これまでの振り返りをもとに今後の目標設定ができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等